

東京都認証学童クラブ設置申請書

東京都知事 殿

設置者

住所 東京都荒川区荒川2-2-3
氏名 荒川区長 滝口 学

東京都認証学童クラブ事業実施要綱第5章1(1)①の規定により、下記のとおり申請します。

記

1	学童クラブ名	西尾久学童クラブ							
2	学童クラブの所在地	郵便番号	116-0011	住所	東京都荒川区西尾久8-26-9 尾久第六小学校内 東京都荒川区西尾久8-33-31 西尾久ふれあい館内				
3	設置・運営形態	公 設 民 営							
4	設置主体	名称	荒川区						
		住所	郵便番号	116-8501	住所	東京都荒川区荒川2-2-3			
		代表者	荒川区長 滝口 学						
5	運営主体	名称	株式会社日本デイケアセンター						
		住所	郵便番号	104-6038	住所	東京都中央区晴海1-8-10 晴海アイランド トリトンスクエアオフィスタワーX 38階			
		代表者	代表取締役社長 齋藤 加代子						
6	学童クラブ事業開始年月	平成	27	年	6	月			
7	認証学童クラブ事業開始年月	令和	8	年	4	月			
8	支援単位の状況 (※1)	西尾久学童クラブA	専用区画面積	学童クラブ数(1)	105.044	m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)	2.63	m ²
			児童数	40名					
			職員体制	放課後児童支援員(常勤)	2	名	放課後児童支援員(非常勤)	1	名
			補助員(常勤)	1	名	補助員(非常勤)	1	名	
9	開所時間	平日	放課後から	19時	まで				
		土曜日・長期休業期間	8時	から	19時	まで			
10	国庫補助の有無	有							
11	職員の勤務条件や賃金体系の策定有無	有							
12	職員の資質向上のための研修計画策定有無	有							
13	長期休業期間中の昼食提供	有	夏季休業期間	29 (42)	日間提供 (夏季休業期間の全日数)	提供方法	その他(配送料のみ区負担、注文は保護者)		
		有	冬季休業期間	5 (13)	日間提供 (冬季休業期間の全日数)	提供方法	その他(配送料のみ区負担、注文は保護者)		
		有	春季休業期間	7 (8)	日間提供 (春季休業期間の全日数)	提供方法	その他(配送料のみ区負担、注文は保護者)		
14	活動内容	児童の意見を聞く場や機会創設有無	有(別紙様式2のとおり)						
		多様な遊びや体験活動の実施有無	有(別紙様式2のとおり)						
15	東京都福祉サービス第三者評価受審有無	有	令和	10	年度	受審予定			
16	直接契約の有無(民設民営の場合のみ)								
17	利用料	月額	5,000	円					
		協議書提出有無 (月額利用料14,000円を超過する場合)							

※1 支援単位が2つ以上となる場合は、第1号様式乙に記載ください。

第1号様式乙

支援単位名	支援単位ごとの状況							
西尾久学童クラブ B	専用区画面積	学童クラブ室(2)	51	m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		1.7	m ²
	児童数	30名						
	職員体制	放課後児童支援員(常勤)		2	名	放課後児童支援員(非常勤)		1
補助員(常勤)		0	名	補助員(非常勤)		2	名	
西尾久学童クラブ C	専用区画面積	学童クラブ室(3)	51	m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)		1.7	m ²
	児童数	30名						
	職員体制	放課後児童支援員(常勤)		2	名	放課後児童支援員(非常勤)		0
補助員(常勤)		1	名	補助員(非常勤)		0	名	
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)			m ²
	児童数	名						
	職員体制	放課後児童支援員(常勤)			名	放課後児童支援員(非常勤)		
補助員(常勤)			名	補助員(非常勤)			名	
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)			m ²
	児童数	名						
	職員体制	放課後児童支援員(常勤)			名	放課後児童支援員(非常勤)		
補助員(常勤)			名	補助員(非常勤)			名	
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)			m ²
	児童数	名						
	職員体制	放課後児童支援員(常勤)			名	放課後児童支援員(非常勤)		
補助員(常勤)			名	補助員(非常勤)			名	
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)			m ²
	児童数	名						
	職員体制	放課後児童支援員(常勤)			名	放課後児童支援員(非常勤)		
補助員(常勤)			名	補助員(非常勤)			名	
	専用区画面積	(部屋名)		m ²	(児童数で按分したときの1名あたりの面積)			m ²
	児童数	名						
	職員体制	放課後児童支援員(常勤)			名	放課後児童支援員(非常勤)		
補助員(常勤)			名	補助員(非常勤)			名	

活動内容の詳細

第1号様式における多様な遊びや体験活動については、下記のとおりです。

記

1 児童の意見を聞く場や機会の創設

具体的な内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・行事の内容やクラブの問題を全体で考える際に、班活動を基に児童同士の話し合いを重視している。班から出た意見を次に全体で考え、答えを導き出している。 ・クラブ室内に設けている「意見箱」に入った意見について、職員間での検討を踏まえ、児童の班活動や「帰りの会」等で子どもたちの意見を聞く機会を設けている。 ・遊びの中での会話や少人数での「子ども会議」（テーマを決めてのおしゃべり）を大切に、ひとり一人の考えを尊重する機会を設けている。 	

2 多様な遊び及び体験活動

項目	実施回数	具体的な内容
「身体を動かす遊び」	毎日	・ドッジボール、ドッジビー、サッカー、バドミントン、一輪車、おにごっこ、縄跳びなど、時間を決めて行っている。
「製作活動等」	毎日	・創作活動は毎日行っている。 ・週に3日間、連続して同じ課題の創作を行っている。月に1回の最終週は「なんでも制作」の機会として、空き箱や折り紙等を使って自由制作をしている。 ・クラブが立地する児童館主催の作品展への出品、七夕やハロウィン、クリスマス等の歳時物の創作を行っている。 ・年度末には保護者へのプレゼントを制作している。
「地域の文化等に触れる体験」	5回	・盆踊り：町内会の盆踊り大会、および盆踊り大会に向けての練習に参加している。 ・餅つき：町内会の餅つきに参加し、餅つき体験後にいろいろな味のお餅もちを食べる体験を行っている。 ・ふれあい館まつり（児童館の文化祭）：地域の高齢者と一緒に合唱の発表を行っている。 ・ハロウィン：仮装して町内をパレードし、商店街に立ち寄りお菓子をいただいている。 ・お正月遊び：けん玉、コマ、かるた、羽根つき、福笑い、だるま落としなどを町内会の方々と楽しんでいる
「自主学習」	毎日	・平日は17:00～17:30、長期休業中は9:30～10:00と17:00～17:30に学習時間を設けている。 ・自由時間にも学習ができるように、「学習優先スペース」を作っている。
「児童の意見を反映させた行事」	20回	・毎月のお誕生日会の内容は、前月の誕生児童が企画し、計画・進行するようにしている。 ・「新入生歓迎会」「ファッションショー」「にしおぐ万博」「スポーツフェスティバル」「おみせやさんごっこ」「ハロウィンパーティ」「おたのしみ会」「おわかれ会」などの主要行事では係の児童を募り、企画から準備、司会進行、片付けまで行っている。

3 要件

児童の意見を踏まえた内容となっているか	はい	「参加する」「参加しない」を児童が選択できるか	はい
---------------------	----	-------------------------	----